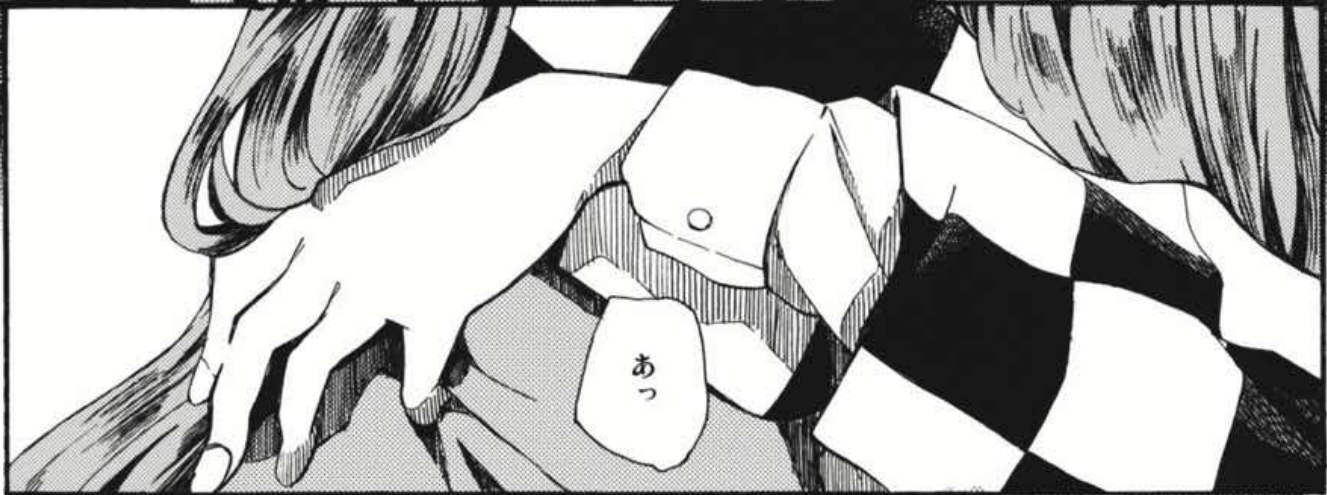




かごめ、かごめ、籠の中の鈴や

鈴奈庵



あっ



ほら
良いのかい
店を閉めなくて
誰か来るかも
知れないぞ

まったく
こんな時間から

あ……っ



مامizouさん



مامizouさん……っ

はっはっはっ
可愛いやつめ



かごめかごめ、籠の中の鈴や

※原作鈴奈庵と食い違う表現がございます。
ご了承ください。



本居小鈴……マミソウに想いを寄せる貸本屋の娘。

マミソウが人間ではないと薄々気づいているが
どうでもいい。

稗田阿求……阿礼乙女九代目。


マミソウの正体に気付いている。
小鈴を取り戻したい。

二ツ岩マミソウ……クソゲス狸。

博麗霊夢……みんな大好き、楽園の素敵な巫女。







足下
気をつけて

あなたこそ大丈夫？
転ばないでよね

なあに？
地下にあるの？

平気よ
私の家だもの

...

まだ続くの？
いったいどこまで...

もうすぐよ

ほら



…な

なによ
これは…っ



おもしろいでしょ

ずいぶん昔に
外の世界で
使われていたのよ

はっ



…ふ

ふーん



「座敷牢」という名前で

ギイ

この檻の中に
人を閉じ込めておく
ためのものなの



あんたも悪趣味ね
こんな物作って
私に見せて…



いったい何を
入れておくのよ



とても
たいせつなものを









阿求？

あなたのためなの…



でも
こうするのが
一番いいの



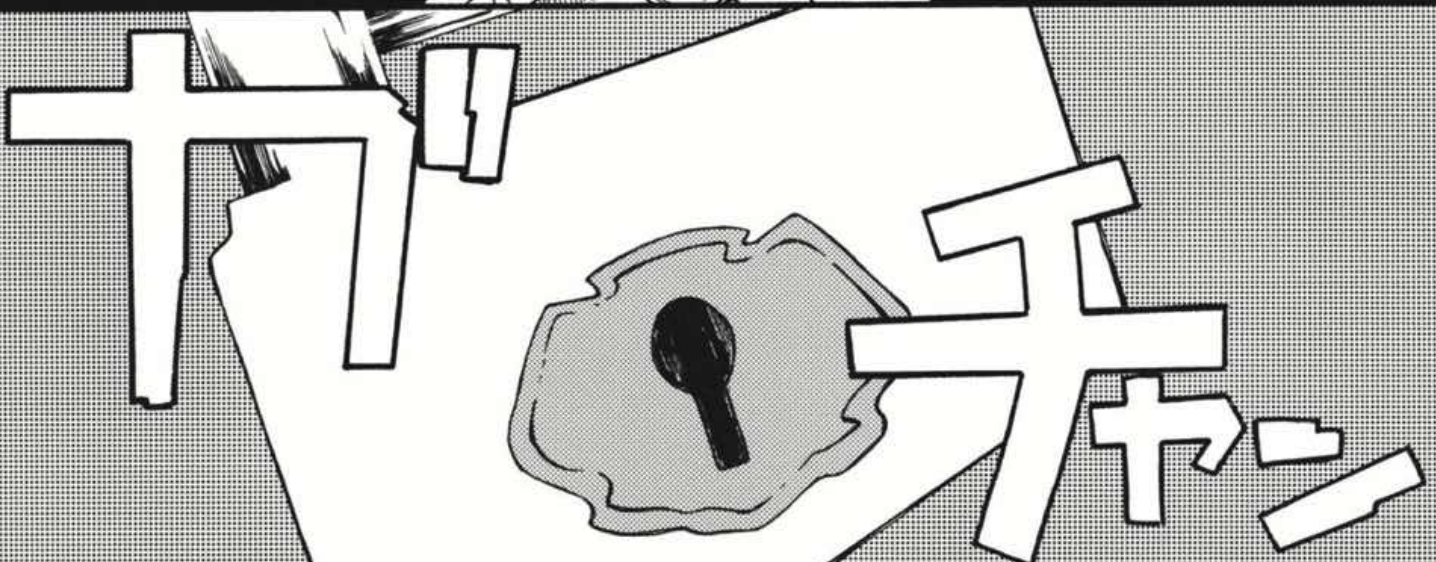
ここにいれば
安全なの……っ



あんな
クソで下衆な狸に
あなたを
渡したりしない

小鈴
あなたは

私が
守ってあげる



それで

小鈴さんが
いなくなったのは？

五日程前
になります

昼過ぎに出かけて
それっきり……

家にも帰って来ないし……
里であの子を
見かけたと言う
人もいないのです

あの子に
何かあったのでは
ないかと……

どこかで
怪我をして
動けずにいるだけ
なのかもしれません……

ですが

もし妖怪の類の
仕業であれば……

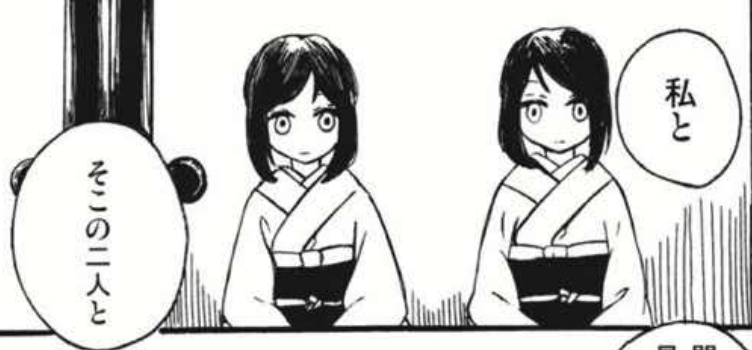
お願いします
博麗の巫女様

どうか小鈴を
見つけて下さい

わかりました
お引き受けします

「小鈴はあの日
阿求様に会いに稗田のお屋敷を
行くと言っておりました」







里中聞き周っても
結局何も
わからず仕舞い…

じゃあ
屋敷を出てすぐに
何かあったって
ことなのかなあ



…あの
人
ここに
よく
出入り
していた
女の
人

あの
人
普通
の
人
間
じ
ゃ
な
い
で
す
よ
ね
?



うーん

ほ

す



ひょ
きょ
きょ

きょ
きょ



あー



あまり
大き
な
声
で
は
言
え
な
い
ん
だ
け
ど





ただじゃ
済まされない
だろうから

「妖魔本の置いてある
貸本屋に
妖怪が出入りしている」
なんて知れたら

はい



内緒にしてよ

カラカラ

カラ



絶対に見つけ出す



でも
勿論その人を
放っておくわけでは
無いですよね!?



当然よ
もし妖怪の
仕業だとしたら
私の本業よ



私からも
お願いします

やっぱり
霊夢さんは
頼りになります



どうか小鈴を
取り戻して





そうそう
少し前に
霊夢さんが
来たわ

霊夢さんが…?

先にお知らせ



れいむさん…
れいむさん
たすけて…

もう帰ったわよ
私のことは
疑ってない
ようだったけど

ずる
ずる
ずる



そんな…



気をつけなくちゃ
あの人恐ろしく
勤が良いから



こんなこと...
霊夢さんに
バレたら

ギイ

怒られる
でしょうね

でもきつと
わかってくれる



私は
化け狸に
誑かされた小鈴を
守っていただけだ

そんな顔しないで
あなたの好きな本を
持ってきたから

することもないと
つまらないでしょう？
これでも読んで

いやだ


お願い
帰して……

私だって
あなたを
傷つけない
わけじゃない……

ここから出て……！



でも
あんたが!



あいつのせいで
おかしくなっていく
小鈴が
見ていられなくて……



帰して……

だして

うちに
かえして……

どうして
わかって
くれないのお……

たすけて

れいむさん

おとうさん

おかあさん

私は
あなたを助けたい
だけなのに！

たすけて
マミゾウさん



呼んだかえ?

わっ

...ああ

ああ...



待たせたのう
小鈴や

カラッ

ママソウさん...

ママソウさん...

あっ

ん...



下衆狸が...

このままで
良いのかしら

でも阿求様に
命じられたら…
私たちは
使用人だし…

ここを
追い出されたら
行くところが
無いのよ!?

それは
そうだけど…

ふーん?

詳しく
聞かせて
もらうわよ

その話



それにしても



流石は
代々
阿礼乙女を授かる
由緒正しき
稗田の御屋敷じゃ

今日は
鍋にするか！
—やめて—

あ
々々きた



いやいや
ここまで
入り込むのも
大変じゃったよ



お前のせいで
小鈴が！

お前の…



地下に
座敷牢とは…

懐かしいのう
今じゃ外の世界でも
こんな立派なもの



儂は
何もしとらんよ
なあ？
小鈴よ



儂が？



私の
小鈴を！

返せ！！

31

お前は
戻りたいか？

儂と
あの親友の娘と
どちらを選ぶ？

…だそうだ
小鈴
お前の親友は
ああ言ってるが…

ごめんね
阿求



ちよっと



何なのよ
これは…

一体
どうして…



阿求…!
大丈夫?
落ち着いて
深呼吸して



思っていたより
遅い登場じゃな
巫女殿



説明？

儂は
何もしとらんよ



あんた
説明しなさいよ！
小鈴ちゃんを
どうするつもり!?



小鈴ちゃん…!



お前さんの腕に
伏せている
阿礼乙女じゃ

尋問に
かけられるべきは



ママゾウさん…

ん？

ああ
待たせて
すまんかった



なあ
阿求殿？



では
行こうか



待って!

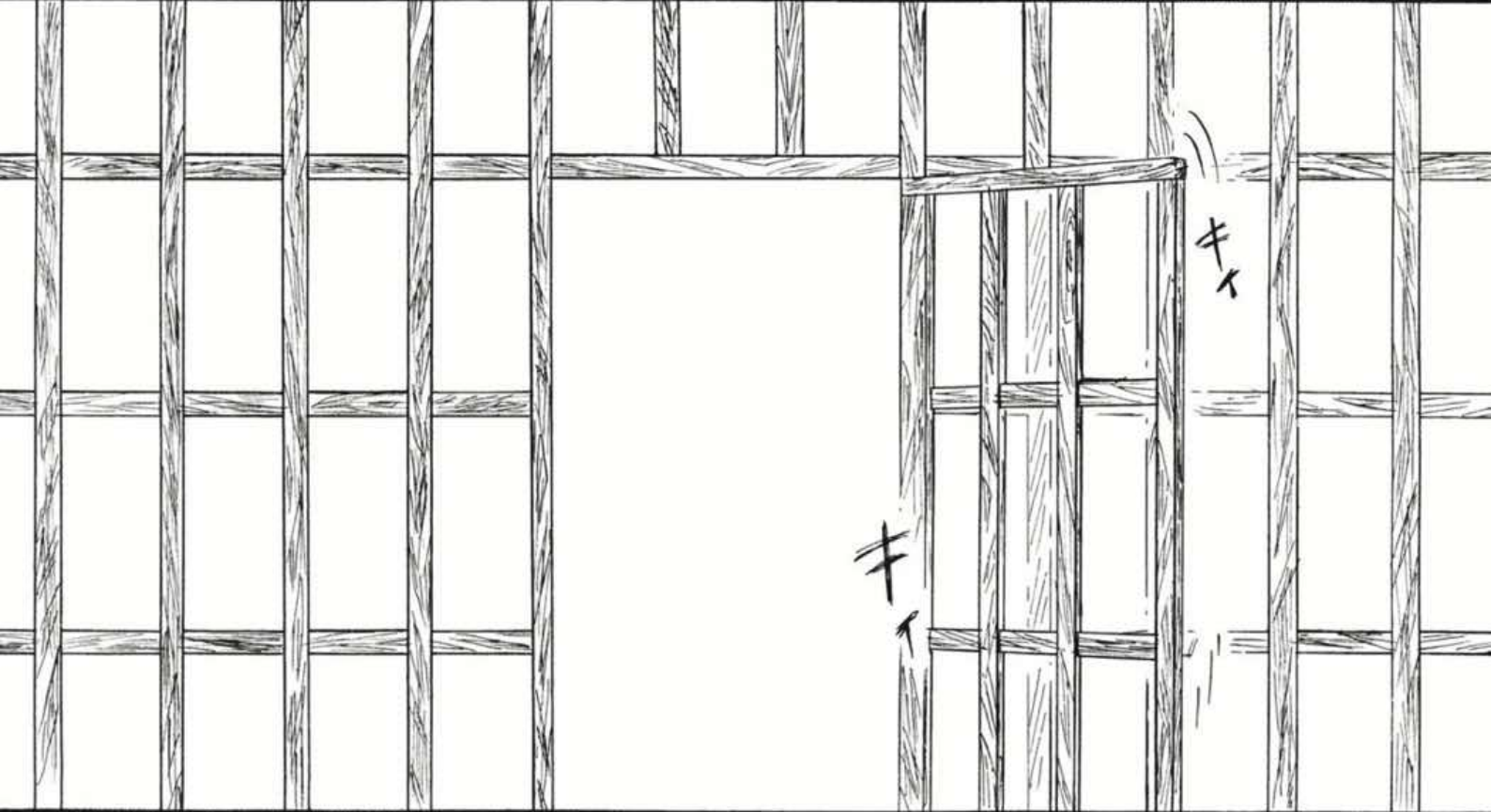


お願い
戻ってきて
小鈴……!





いよ
ち



キ
キ



こす
ず

うわああああん



...



...

え...っ
う...うう...っ

わああああああん



小鈴とマミゾウの行方は、
その後誰にも知れませんでした。

かごめかごめ、籠の中の鈴や

発行日 二〇一四年十一月二十四日 博麗神社秋季例大祭

発行 そぞろ/つぐみ

<http://wi-tugumi.hitotu.jp>

wi_tugumi@yahoo.co.jp

印刷 株式会社 栄光

原作 上海アリス幻楽団 東方project

無断転載、複写、オークションへの出品を禁じます

かごめかごめ、籠の中の鈴や
-KOSUZU-CHANCE in ZASHIROU-

2014.11.24